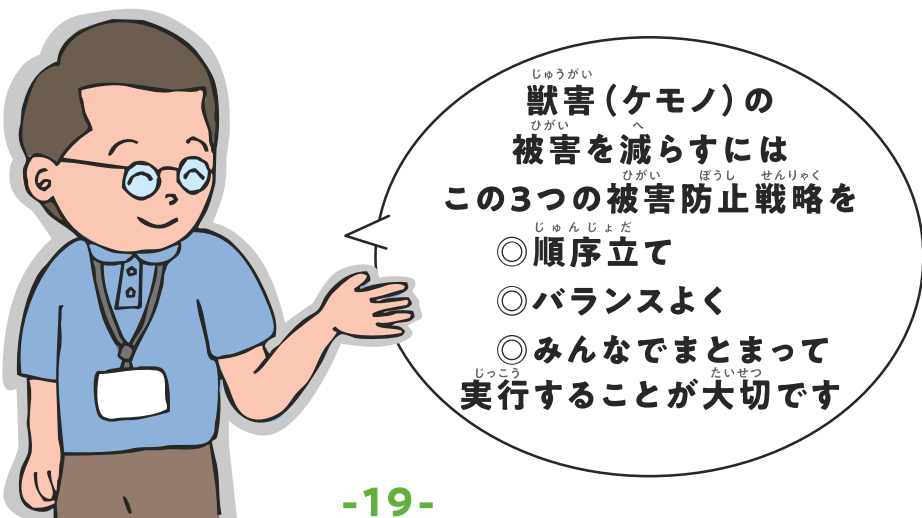


3. 農林業被害を防ぐ



農林業被害を防ぐ3つの戦略

- ① エサを食べさせない
- ② 人里に近づけない
- ③ 獣の数を減らす

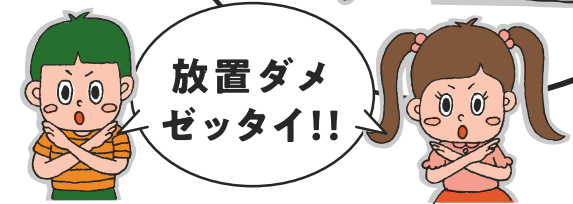


被害防除「食べさせない」

① エサ(作物や果樹)を食べさせない

作物や果樹の取り残しや放置をしない

田畑や家の外に害獣(ケモノ)のエサになるものを置かない。収穫しない果樹は伐採する。



作物や果樹を囲う電気柵は効果が確実!

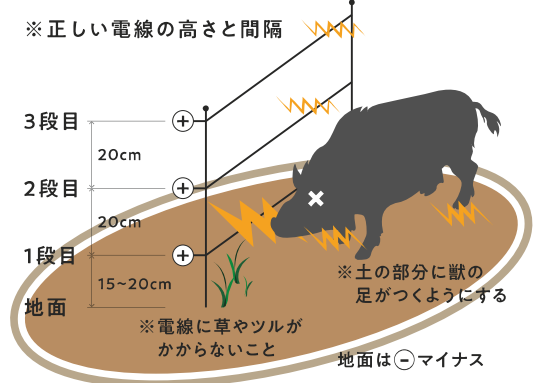
(正しく設置して管理することが重要)

イノシシやサルのほかにもクマに対しても電気柵は非常に効果的だが、害獣(ケモノ)の特性に合わせて正しく設置・管理しなければ効果が発揮できない。

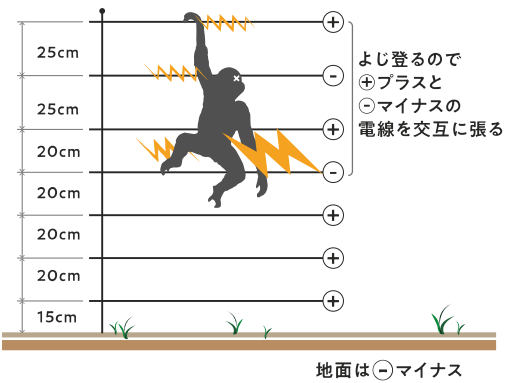
【電気柵の失敗例】

1. 柵の高さが足りない
イノシシは1m、サルは2m以上ジャンプできる
2. 地面から電線までの高さが正しくない
地面と電線の隙間は、サル15cm クマ・イノシシ20cm
3. 通電していない
電線が草や水面に触れている、害獣(ケモノ)の足が土に接していないなど電気が通っていないと、電気柵を怖がらずに突破する個体を増やしてしまう
4. 囲っていない農地がある
みんなが困わないと、いつまでも害獣(ケモノ)を惹きつけてしまう
5. 隙間がある
「このくらいなら大丈夫か」と残された隙間を害獣(ケモノ)は見逃さない
6. 設置する場所が不適當
害獣(ケモノ)が勢いよく突破し(飛び越え)やすい斜面のすぐ下に電気柵を張っている

クマ・イノシシ用電気柵の設置例



サル用電気柵の設置例

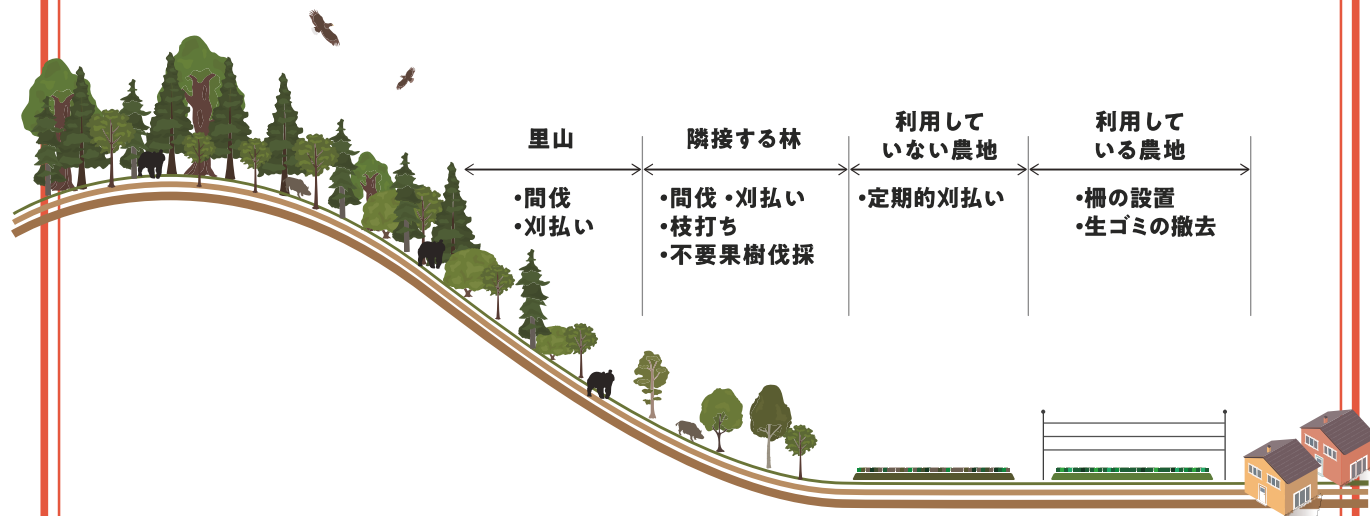


環境整備「近づけない」

②人里（農地などエサのあるところ）に近づけない

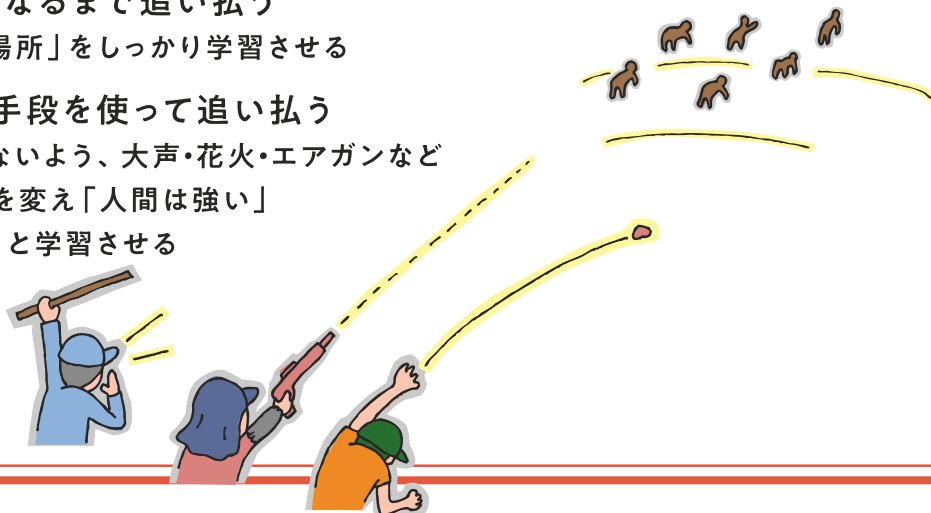
隠れ場所や進入路をつくらない

1. 空家や耕作放棄地の草ヤブは、刈払いをして見通しを良くする
2. 集落や農地に隣接した林の中の枝打ちや下刈りをして見通しを良くする
3. 害獣（ケモノ）が集落や農地に侵入してくる場所の木を伐採して緩衝帯をつくる



サルには正しく効果的な追い払いを行う

1. 住民の誰もが共同して、みんなで追い払う
見て見ぬふりをしない。追い払わない人がいると「人は怖くない」という学習をしてしまう
2. 猿が来た時は必ず追い払う
自分の畑でなくとも追い払うことで効果が上がる
3. 1匹もいなくなるまで追い払う
「近寄れない場所」をしっかり学習させる
4. いろいろな手段を使って追い払う
慣れてしまわないよう、大声・花火・エアガンなどやり方や道具を変え「人間は強い」「人間は怖い」と学習させる



狩猟捕獲「数を減らす」

③害獣（ケモノ）を捕獲して数を減らす

効果的な捕獲を行う

1. 農作物を食べにくる加害個体を選択的に（狙って）捕獲する
2. 被害が起きている場所の状況や加害獣の習性に合わせて効率的に捕獲する

